

中津市で現場見学・意見交換

「ドボジョ」に注目



～女性技術者 意見交換会～

国土交通省九州地方整備局 九州建設コンサルタント

H28.11.20



①長友悠さん(左端)の案内で、築堤工事現場を見学②県内で活躍する女性技術者ら＝中津市本耶馬溪町多志田地区

女性目線で魅力発信へ

県内で働く女性土木技術者たちが、中津市内で女性が進む工事現場などを見学し意見交換をした。政府が女性の活躍推進を成長戦略の一つに掲げる中、建設・土木分野で働く女性は「けんせつ小町」「土木系女子(ドボジョ)」などと呼ばれ注目を集めている。土木現場の仕事の魅力発信について女性の目線から探った。

国土交通省九州地方整備局の呼び掛けで、国や県、民間企業で河川やダム整備に携わる女性土木技術者10人が参加。山国川の整備事業現場を見学した。本耶馬溪町多志田の築堤工事現場では、施工する川原建設(耶馬溪町)の長友悠さん(26)が、同社で導入した3次元設計技術を解説した。現場では珍しいという女性専用トイレも披露。外観が華やかなピンク色に塗装されており、参加者が

ら「すごい」などと感嘆の声が上がった。

各自の取り組む仕事内容や、その魅力をどう発信していくかについて意見交換。「子どもたちへのアプローチが重要」「河川やダムは一般に開放された空間。風景や歴史、食を組み合わせてPRし、多くの人に訪れてもらいたい」「裏側で働く人の姿も知ってほしい」などと発言した。

九州建設コンサルタント(大分市)の前畑朱音さん(28)は「会社でも女性技術者は少なく、貴重な機会になった。女性の先輩が切り開いてくれた道を大事にしながら、これからも楽しんで仕事をしていきたい」と話した。(吉田美佳)